

ポイント

- 「今後の財政運営の基本方針【方向性】」に沿って施策・事務事業の徹底した精査、ゼロベースでの見直し、取捨選択、さらには、既存事業の再構築、スクラップ・アンド・ビルドなど、**歳出の「量的な削減」と「質の一層の向上」に取り組む。**
- 北海道スタイルの実践に伴う事務的経費の見直しを徹底した上で、施策間連携や横断的事業の推進、市町村や民間と連携・協働した事業の構築などを行い、「**令和4年度重点政策の展開方針（案）**」に基づく優先度の高い施策に、**限りある行財政資源を効果的・効率的に配分。**

主な取組

- 「**スクラップ・アンド・ビルド促進枠**」
既存事業におけるスクラップアンドビルドや創意工夫による積極的な事業の組み替え等を促進するため、**目標額を上回る削減を行った場合に、要求上限額を引き上げ。（R3：1.5倍 ⇒ R4：2倍）**
- 民間資金獲得に対するインセンティブ**
施策効果を高める観点から、**民間等の外部資金を活用した事業構築を促進**するため、令和4年度に**新たに獲得した(する)寄附額に応じて、各部局配分額を上乗せ。（R3：20% ⇒ R4：50%）**
- 北海道スタイルの実践に伴う**事務的経費見直し**

11月24日
重点政策の展開方針通知
予算編成方針通知

1月中旬
総務部長調整

2月上旬
知事査定

2月下旬
知事記者発表
第1回定例会開会

スクラップ・アンド・ビルド促進枠

目的

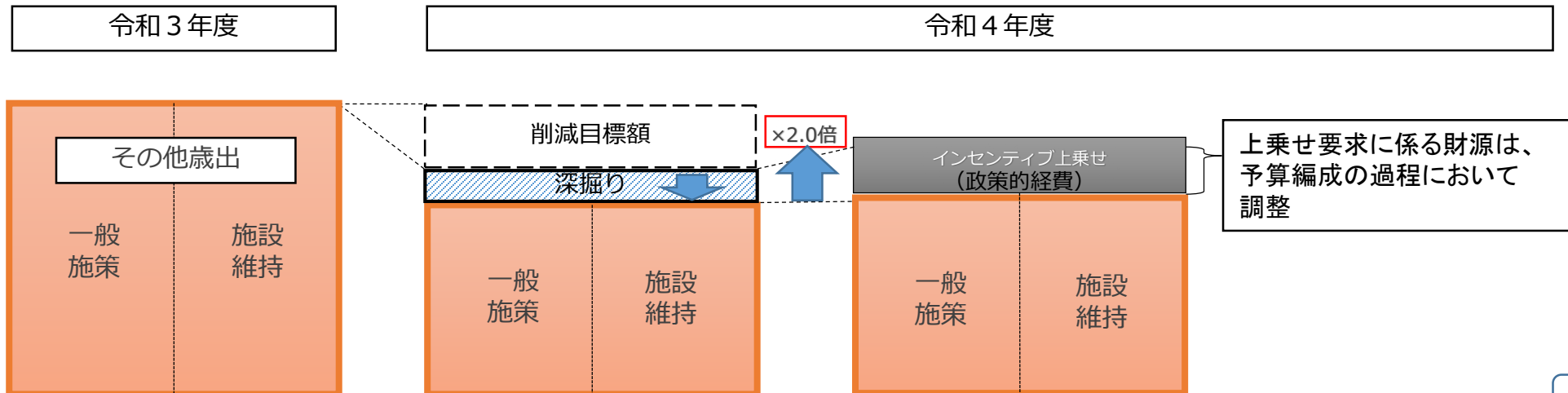
既存事業について、スクラップアンドビルドや創意工夫による積極的な事業の組み替え等を促進するため、目標額を上回る削減を行った場合に、**要求上限額を引き上げ**。

上乗せ要求

- 「**その他歳出**」における各部局の削減目標額を上回る削減額(深掘り削減額)×2倍 (R3:1.5倍) まで**要求可**とする。
- この仕組みを活用して要求を行うことができる事業は、**政策的経費(一般施策のうち維持的な経費や団体補助金等の恒常的・固定的な経費を除く)**に**限定**する。

上乗せ要求に係る財源の対応

- 財源フレームは、厳守する必要があることから、**上乗せ要求事業や他事業の計数を精査することにより、各部局の配分枠内となるよう、予算編成の過程において調整**。



民間資金の獲得に対するインセンティブ

目的

- 施策効果を高める観点から、**民間等の外部資金を活用した事業構築を促進**するため、**受入を行った部局に対するインセンティブの仕組み**を設定する。
- 令和4年度に**新たに獲得した(する)寄附額**に応じて、**受入額の50% (R3:20%)**を各部局配分額に**上乗せ(原則当該年度)**

区分	インセンティブ (部局配分上乗せ)	活用対象事業	予算計上 時期	財源の 取扱	事業執行 の範囲
企業版 ふるさと納税	50%	○地方創生の推進に資するものとして、道の重点事業として位置付けられるもの 【地方創生交付金の対象事業】	年間を 通じて 計上	特定財源	寄附の範囲内 で実施
クラウド ファンディング (GCF)	〔 確定： 当該年度 未確定： 翌年度 〕	○企業、個人、道内外を問わず、共感を得られやすい取組など			
特定施策への 協賛金		○道の特定施策に対し、協賛の趣旨で寄附の申出等があったもの			
個人版 ふるさと納税	なし	○「地域振興等に資する事業」など用途を限定せず寄附者を募る	補正	一般財源	地域政策推進 事業等に充当